

株主メモ

決算期	6月30日
定時株主総会	毎年9月
基準日	6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.garage.co.jp/ir/financial_001.html
上場取引所	JASDAQ
銘柄コード	4819

株式会社デジタルガレージ

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷二丁目43番15号
お問い合わせ先電話 03-5465-7747
e-mail ir@garage.co.jp
ホームページアドレス <http://www.garage.co.jp/>
IRホームページアドレス <http://www.garage.co.jp/ir/>



株式会社デジタルガレージ

第11期

中間事業報告書

平成17年7月1日～平成17年12月31日



株主ならびに投資家の皆様へ

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社事業にご理解とご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。ここに平成18年6月期中間期の(株)デジタルガレージおよびデジタルガレージグループの事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

林 郁 CEO挨拶

新中期経営計画の初年度の上半期が終わりました。当中間連結会計期間には、グループ内の事業区分を再編し、経営資源を最適化するなど、連邦経営の第二ステージの始まりとして良いスタートが切れたと考えています。

「ポータル／ブログ事業」では、平成17年7月に連結子法人等(株)テクノラティジャパンがブログ検索の本格サービスを開始し、おかげさまで国内最大規模のブログ検索サイトに成長しました。平成17年11月には(株)あび、および連結子法人等(株)カカコムと合併で連結子法人等(株)WEB2.0（ウェブツポントオー）を設立し、テクノラティのブログ検索技術のショーケースとなる新規ポータルサイト「PingKing（仮称）」の開設準備を進めています。

一方、従来のVTC（ベンチャー・トランスフォーメーション・キャピタル）事業を発展させる形で「インキュベーション事業」を独立した事業セグメントとしました。平成17年7月にベンチャー企業に対して投資やコンサルティングを行う連結子法人等(株)DGインキュベーションを設立。さらに、独立系ベンチャーキャピタルの最大手である日本アジア投資(株)との合併でベンチャー企業の投資育成事業を行う連結子法人等(株)DG&パートナーズを設立するなど体制を強化し、次代を担うベンチャー企業を支援してまいります。

また、平成18年1月には、グループ内に分散していたR&D（研究開発）機能を集約する形で東京都内にJoi Ito's Labを開設しました。当社の共同創業者でインターネットの分野で世界的に有名な伊藤穰一顧問を中心に世界中の学者・研究者、トップクラスの学生たちをネットワーク化し、次世代インターネット技術を集約する構想です。

当連結会計年度は、現在進行中の下半期で、グループの結束を高めつつ着実に事業拡大する堅実性を維持しながら、多様な事業展開を計画しています。今後も、創業時から掲げる「インターネット時代の役に立つコンテンツ事業の創造」というミッションを胸に、21世紀のCONTEXT（事業の文脈）を創造していく所存です。

株主ならびに投資家の皆様には、引き続き当社および当社グループへのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

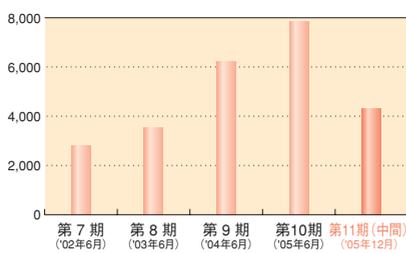


代表取締役／グループCEO

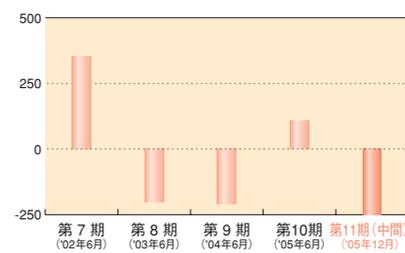
林 郁（はやし かおる）

連結決算ハイライト

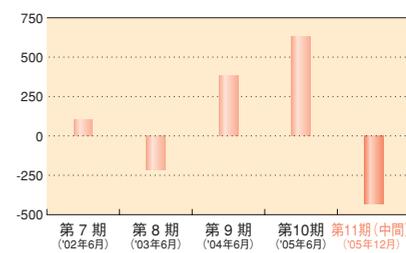
売上高 (百万円)



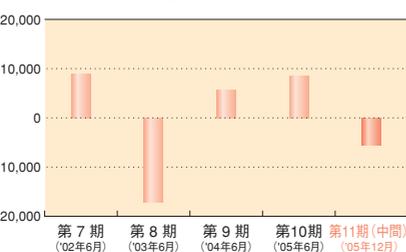
経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



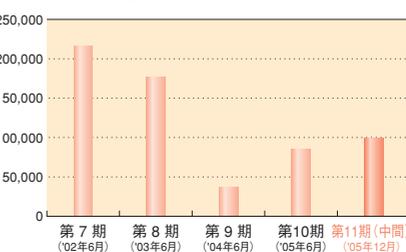
1株当たり当期純利益 (円)



総資産／株主資本 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



※平成16年(2004年)2月20日付けで普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割をいたしております。

平成18年6月期(中間)の連結業績について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善により民間設備投資も増加し、また雇用情勢の改善や株価の上昇等により個人消費の増加も見られたものの、原油価格の高騰等の影響もあり、全般的には緩やかな回復基調にとどまりました。また、当社グループを取り巻くインターネットおよびブロードバンド関連の環境につきましては、平成17年9月末時点でブロードバンド利用者数が2,100万人を超えるなど、継続的な拡大基調となっております。

当社グループはこのような状況の下、当連結会計年度を新中期経営計画の初年度と位置付け、連邦経営の第二ステージを迎え、グループ内の機能的再編および経営資源の最適化を図ることにより、更なる事業体制の強化を進めてまいりました。

【ソリューション事業】

ソリューション事業におきましては、相変わらず厳しい環境は続きましたが、引き続きIT技術を活用したマーケティングソリューションの一貫体制の構築を行うとともに、各社の事業シナジーの最大化を図ってまいりました。

この結果、ソリューション事業につきましては、前連結会計年度に株式交換により完全子会社としたアイベックス・アンド・リムズ(株)の貢献もあり、売上高は2,197百万円（対前年同期比602百万円増、同37.8%増）と大幅に増加いたしました。一方でのれん代の償却負担もあり、営業損失は25百万円（対前年同期比2百万円改善）となりました。

【ポータル／ブログ事業】

ポータル／ブログ事業におきましては、連結子法人等(株)カカコムにおいて平成17年5月に発生した不正アクセスにより、同社の運営サイト「価格.com」を一時閉鎖いたしました。その後の利用者は順調に回復いたしました。また、同(株)DGモバイルにおける「携帯でマンガ★毎日モバコミ」、「グラどる書店」といった携帯端末向けのコンテンツ配信サービスも本格的な稼働を開始し、順調に拡大いたしました。

これらの結果、ポータル／ブログ事業につきましては、売上高は1,038百万円（対前年同期比210百万円増、同25.5%増）と増加いたしました。一方で上記の不正アクセスに関連したセキュリティ構築による各種費用等の発生により、営業損失は1百万円（前年同期は営業利益199百万円）となりました。

【ファイナンス事業】

ファイナンス事業におきましては、連結子法人等(株)イーコンテクストが提供する決済・物流サービスについて、今後成長の見込める業界の選別と、その業界における有力EC事業者へのアプローチ、ならびに既存顧客における取引シェアの拡大を推進いたしました。また、同(株)カカコムが提供する外国為替保証金取引事業におきましても、顧客数が順調に増加し、拡大傾向にあります。

これらの結果、ファイナンス事業につきましては、売上高は1,061百万円（対前年同期比535百万円増、同101.8%増）、営業利益は286百万円（対前年同期比224百万円増、同360.4%増）と大幅な増収増益となりました。

【インキュベーション事業】

前連結会計年度までは独立した事業セグメントとしていなかった、VTC（ベンチャー・トランスフォーメーション・キャピタル）事業を発展させる形で、ベンチャー企業への投資・育成を行うインキュベーション（孵化）事業を独立のセグメントとし、連結子法人等(株)DGインキュベーション、同(株)DG&パートナーズ、同DGニューコンテクスト投資事業有限責任組合を設立するなどの先行投資を行い、ベンチャー企業支援の新たな体制を構築いたしました。この結果、インキュベーション事業につきましては、営業損失は138百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,296百万円（対前年同期比1,348百万円増、同45.7%増）となりました。のれん代の償却負担増等により営業損失は159百万円（対前年同期比90百万円増）となり、持分法による投資損失や社債発行費等の営業外費用は減少したものの、経常損失は249百万円（対前年同期比7百万円増）、さらに上記の(株)カカコムにおけるサイトの一時閉鎖に係る運営サイト復旧費用41百万円や関係会社に係る持分変動損失14百万円の発生等もあり、中間純損失は433百万円（対前年同期比128百万円増）となりました。

※従来、事業区分は「ソリューション事業」、「ポータル／ゲートウェイ事業」、「モバイル事業」、「その他の事業」に区分していましたが、当中間連結会計期間より「ソリューション事業」、「ポータル／ブログ事業」、「ファイナンス事業」、「インキュベーション事業」の区分に変更しており、前中間連結会計期間との対比につきましても、変更後の事業区分によっております。

事業の種類別 セグメントの名称	第10期(中間期) 自平成16年7月1日 至平成16年12月31日		第11期(中間期) 自平成17年7月1日 至平成17年12月31日		前年比 増減額 (△は減)	前年比 増減率 (△は減)
	売上高	構成比	売上高	構成比		
ソリューション事業	1,595	54.11%	2,197	51.14%	602	37.75%
ポータル／ブログ事業	827	28.06%	1,038	24.16%	210	25.48%
ファイナンス事業	525	17.83%	1,061	24.70%	535	101.84%
インキュベーション事業	—	—	—	—	—	—
合計	2,948	100.00%	4,296	100.00%	1,348	45.73%

(単位：百万円)

トピックス

デジタルガレージグループには、消費者の皆様の生活に直接役立つサービスを提供している企業群があります。

株式会社カカコム／フォートラベル株式会社

当社連結子法人等である(株)カカコムが提供している国内最大規模の価格比較サイト「価格.com」やレストランのクチコミサイトである「食べログ.com」、高級ホテルの当日限定予約サイト「yoyaQ.com」を始め、(株)カカコムの子会社であるフォートラベル(株)が提供する旅行のクチコミサイト「4travel.jp」などは、数多くのユーザーの皆様にご利用いただいております。



<http://kakaku.com/>



<http://r.tabelog.com/>



<http://yoyaq.com/>



<http://4travel.jp/>

株式会社テクノラティジャパン

平成17年1月21日付けで、米国ブログ検索最大手テクノラティ社との業務提携に基づき、当社100%の出資会社として誕生した(株)テクノラティジャパンも昨年7月より正式サービスをスタートしました。日々1万件規模で増加しているブログの世界で、「テクノラティジャパン」は検索対象記事数で1億100万を突破、検索対象ブログ数も250万を超すまでに至っています（平成18年2月13日現在）。「ランキング」、「注目の話題」、「タグ機能」など機能を追加しながらサービスの拡充を行っております。



テクノラティジャパン <http://www.technorati.jp/>

株式会社WEB2.0（ウェブツーポイントオー）

平成17年11月15日、当社とチケット・出版事業大手のぴあ(株)および(株)カカコムの3社で、ブログに代表される次世代インターネット技術の総称である「Web2.0」に沿った新規事業展開を行うため、合併で(株)WEB2.0（ウェブツーポイントオー）を設立いたしました。(株)WEB2.0では、ぴあ(株)/(株)カカコムの既存保有コンテンツや、(株)テクノラティジャパンのリアルタイムブログ検索技術などを有効活用し、「Live Web Japan」をコンセプトにした新規ポータルサイト「PingKing」（仮称）の開設・運用などのインターネット・メディア／サービス事業を展開してまいります。

連結財務諸表

●中間連結貸借対照表

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成17年12月31日現在	平成16年12月31日現在	平成17年6月30日現在
(資産の部)			
流動資産	13,884,671	11,233,823	13,600,776
現金及び預金	8,792,705	6,819,296	6,815,665
受取手形及び売掛金	1,535,396	1,638,448	2,069,288
たな卸資産	138,880	77,058	168,980
未収入金	2,747,666	2,030,106	4,021,563
繰延税金資産	242,629	361,872	131,920
その他	429,382	312,309	399,239
貸倒引当金	△1,990	△5,269	△5,882
固定資産	14,680,296	8,868,634	10,631,226
有形固定資産	277,714	249,570	233,346
無形固定資産	5,984,343	4,516,993	6,146,134
ソフトウェア	368,406	218,677	242,008
連結調整勘定	5,449,930	4,265,621	5,715,201
その他	166,006	32,694	188,924
投資その他の資産	8,418,238	4,102,071	4,251,746
投資有価証券	8,009,912	2,874,309	3,843,897
長期貸付金	2,830	3,428	3,977
繰延税金資産	13,132	284,502	18,909
その他	394,541	939,830	384,962
貸倒引当金	△2,177	—	△0
繰延資産	13,895	101,318	27,790
社債発行費	13,895	101,318	27,790
資産合計	28,578,862	20,203,776	24,259,792

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成17年12月31日現在	平成16年12月31日現在	平成17年6月30日現在
(負債の部)			
流動負債	16,334,404	11,004,505	14,379,868
支払手形及び買掛金	904,892	1,043,376	1,123,359
短期借入金	1,410,000	762,000	860,000
1年以内返済予定の長期借入金	433,940	618,616	505,560
1年以内償還予定社債	448,000	96,000	436,000
未払法人税等	117,495	150,986	248,409
賞与引当金	54,388	38,955	28,694
預り金	12,118,278	7,576,033	10,237,863
その他	847,409	718,537	939,981
固定負債	1,254,642	3,286,756	549,548
社債	140,000	2,158,000	220,000
長期借入金	104,000	664,645	281,770
繰延税金負債	974,407	—	748
退職給付引当金	21,017	21,688	22,800
その他	15,216	442,423	24,228
負債合計	17,589,046	14,291,261	14,929,417
(少数株主持分)			
少数株主持分	3,139,900	1,304,019	2,646,587
(資本の部)			
資本金	1,784,257	1,408,285	1,769,763
資本剰余金	4,318,031	3,942,059	4,303,537
利益剰余金	141,227	△363,963	575,027
その他有価証券評価差額金	1,608,332	△376,582	37,121
自己株式	△1,932	△1,304	△1,662
資本合計	7,849,916	4,608,495	6,683,788
負債、少数株主持分及び資本合計	28,578,862	20,203,776	24,259,792

●中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
売上高	4,296,433	2,948,119	7,846,467
売上原価	2,521,625	1,725,790	4,664,452
売上総利益	1,774,807	1,222,329	3,182,014
販売費及び一般管理費	1,934,545	1,291,585	2,739,111
営業利益	—	—	442,902
営業外収益	159,738	69,256	—
受取利息	141,316	146,316	272,449
受取配当金	5,124	3,699	26,493
投資有価証券売却益	78	317	11,229
投資事業組合収益	—	113,500	126,225
その他	99,041	—	43,033
営業外費用	37,072	28,798	65,468
支払利息	231,564	319,501	606,820
為替差損	62,865	43,932	108,695
新株発行費	—	547	—
社債発行費	231	186	25,285
持分法による投資損失	13,895	67,545	103,195
その他の	144,579	201,612	320,189
経常利益	9,992	5,677	49,454
経常損失	—	—	108,532
特別損失	249,985	242,441	—
貸倒引当金戻入益	627	134,639	1,437,442
持分変動利益	627	2,391	1,814
関係会社株式売却益	—	7,822	848,226
社債消却益	—	21,564	484,540
その他の	—	102,261	102,261
特別損失	—	600	600
固定資産除却損	57,100	107	119,180
社債消却損	1,068	86	86
ソフトウェア評価損	—	—	43,068
運営サイト復旧費用	—	—	66,700
持分変動損失	41,714	—	—
その他	14,317	—	—
税金等調整前当期純利益	—	21	9,326
税金等調整前中間純損失	—	—	1,426,794
法人税、住民税及び事業税	306,459	107,908	—
法人税等調整額	103,371	140,385	327,172
少数株主利益	△209,195	△62,292	152,432
当期純利益	233,165	119,753	313,952
中間純損失	—	—	633,235
中間純損失	433,800	305,755	—

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,072,308	1,474,486	2,295,197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,026,959	529,974	△165,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,170,812	△2,761	573,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	424	647	△881
現金及び現金同等物の増加又は減少額	2,216,587	2,002,347	2,702,462
現金及び現金同等物期首残高	6,072,088	3,369,626	3,369,626
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	8,288,676	5,371,974	6,072,088

●中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	4,303,537	1,483,213	1,483,213
資本剰余金増加高	—	—	—
増資による新株式の発行	14,494	17,820	379,298
連結子会社増加に伴う資本剰余金増加高	—	2,441,025	2,441,025
資本剰余金中間期末(期末)残高	4,318,031	3,942,059	4,303,537
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	575,027	△71,337	△71,337
利益剰余金増加高	—	—	—
当期純利益	—	—	633,235
持分法適用関連会社減少に伴う利益剰余金増加高	—	13,129	13,129
利益剰余金減少高	—	—	—
中間純損失	433,800	305,755	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	141,227	△363,963	575,027

第11期グループ各社の概要

平成18年2月28日現在

ソリューション事業

(株)DGソリューションズ
資本金 100百万円（議決権比率 100.00%）連結子法人等
ITソリューション構築支援

アイベックス・アンド・リムズ(株) ※議決権比率の（内書）は、間接所有であります。
資本金 100百万円（議決権比率（100.00%））連結子法人等
プロモーションを中心とした企業等のマーケティング活動支援サービス業務

(株)クリエイティブガレージ
資本金 30百万円（議決権比率 100.00%）連結子法人等
広告等のクリエイティブ制作

ポータル/ブログ事業

(株)カカココム
資本金 429百万円（議決権比率 40.08%）連結子法人等
インターネットにおける価格比較サイト「価格.com」の企画および運営

フォートラベル(株) ※議決権比率の（内書）は、間接所有であります。
資本金 10百万円（議決権比率（100.00%））連結子法人等
インターネットにおける旅行のコミュニティポータルサイト「フォートラベル（4travel.jp）」の企画および運営

(株)DGモバイル
資本金 227百万円（議決権比率 80.00%）連結子法人等
第三世代（3G）携帯電話を主としたモバイル端末向けコンテンツ関連事業、コマース関連事業、広告関連事業、海外事業等

(株)テクノラティジャパン
資本金 100百万円（議決権比率 100.00%）連結子法人等
インターネットにおけるブログ検索サービスサイト「テクノラティジャパン」の企画および運営

(株)WEB2.0 ※議決権比率の（内書）は、間接所有であります。
資本金 50百万円（議決権比率 86.00%（10.00%））連結子法人等
Web2.0時代のメディア構築

ファイナンス事業

(株)イーコンテクト
資本金 1,063百万円（議決権比率 46.73%）連結子法人等
コンビニエンスストアを中心としたEコマース等の決済・物流事業

(株)カカココム・インシュアランス ※議決権比率の（内書）は、間接所有であります。
資本金 50百万円（議決権比率（100.00%））非連結子法人等
保険代理店業

(株)カカココム・フィナンシャル ※議決権比率の（内書）は、間接所有であります。
資本金 10百万円（議決権比率（100.00%））非連結子法人等
外国為替保証金取引サービス等

インキュベーション事業

(株)DGインキュベーション
資本金 350百万円（議決権比率 100.00%）連結子法人等
新規事業開発投資

(株)DG&パートナーズ ※議決権比率の（内書）は、間接所有であります。
資本金 30百万円（議決権比率（80.00%））連結子法人等
ベンチャー投資ファンド運営

財務諸表（要約）

●貸借対照表（個別）

（単位：千円）

科 目	当中間期	前中間期	前期
	平成17年12月31日現在	平成16年12月31日現在	平成17年6月30日現在
（資産の部）			
流動資産	1,785,986	3,478,054	2,098,997
固定資産	13,078,523	7,259,032	8,109,434
有形固定資産	39,426	43,557	39,120
無形固定資産	7,926	90,588	7,494
投資その他の資産	13,031,170	7,124,886	8,062,819
繰延資産	13,895	101,318	27,790
資産合計	14,878,405	10,838,405	10,236,221
（負債の部）			
流動負債	8,308,326	5,360,819	6,051,276
固定負債	1,072,445	2,797,653	231,149
負債合計	9,380,772	8,158,472	6,282,426
（資本の部）			
資本金	1,784,257	1,408,285	1,769,763
資本剰余金	1,877,005	1,501,033	1,862,511
利益剰余金	232,893	148,591	286,619
その他有価証券評価差額金	1,605,408	△376,674	36,563
自己株式	△1,932	△1,304	△1,662
資本合計	5,497,633	2,679,932	3,953,795
負債・資本合計	14,878,405	10,838,405	10,236,221

●損益計算書（個別）

（単位：千円）

科 目	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
売上高	500,750	1,122,911	1,916,348
売上原価	314,302	934,558	1,504,312
売上総利益	186,447	188,353	412,036
販売費及び一般管理費	571,673	477,283	934,628
営業損失	385,226	288,930	522,592
営業外収益	337,133	159,426	320,276
営業外費用	67,073	114,361	187,841
経常損失	115,167	243,865	390,157
特別利益	1,993	122,894	597,299
特別損失	78	—	109,768
税引前当期純利益	—	—	97,373
税引前中間純損失	113,252	120,971	—
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145	2,290
法人税等調整額	△60,671	△51,661	27,509
当期純利益	—	—	67,573
中間純損失	53,725	70,454	—
前期繰越利益	286,619	219,045	219,045
中間（当期）未処分利益	232,893	148,591	286,619

会社情報

●会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ
 設立 平成7年（1995年）8月17日
 事業内容 グループとしての戦略を策定する純粋持ち株会社
 ●インターネット関連企業への投資育成事業
 ●IT構築およびポータルサイト等の企画・運営事業

従業員 53名（平成17年12月31日現在）

●役員（平成18年3月24日現在）

代表取締役／グループCEO 林 郁
 取締役 六 彌 太 恭 行
 取締役 家 氏 太 造
 取締役 櫻 井 光 太
 取締役 小 尾 一 介
 取締役 遠 藤 玄 声
 取締役 枝 澤 秀 雄
 取締役 辻 井 良 一
 取締役 青 木 輝 夫
 常勤監査役 村 松 康 充
 監査役 喜 田 村 洋 一
 監査役 大 野 実 一
 監査役 安 田 幸 一

●グループ会社のホームページ



株式情報（平成17年12月31日現在）

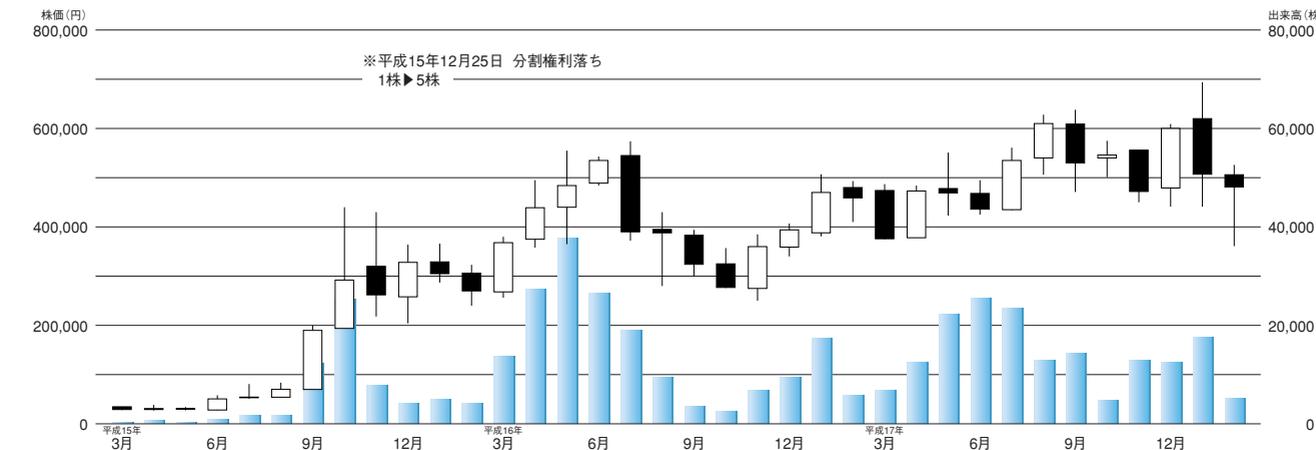
●株式の状況

会社が発行する株式の総数・・・240,000株
 発行済株式総数・・・78,828.23株
 議決権総数・・・78,815個
 株主数・・・3,049名

●大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
林 郁	22,234.85	28.21
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,671.00	7.20
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,901.00	6.22
T I S (株)	4,400.00	5.58
マン・アンド・マシン・インターフェイス(株)	2,850.96	3.62
(有) ケ イ ・ ガ レ ー ジ	2,680.00	3.40
六 彌 太 恭 行 行	2,492.70	3.16
指定単受託者三井アセット信託銀行(株)1口	2,000.00	2.54
吉 田 就 彦	1,430.00	1.81
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	1,386.00	1.76

●株価の推移



※当社は、平成15年12月31日最終の株主に対し所有株式数を普通株式1株につき5株の割合をもって、平成16年2月20日付で株式分割いたしました。本表では過去にさかのぼり、株式分割調整後の株価で記載しております。

●株式分布状況

